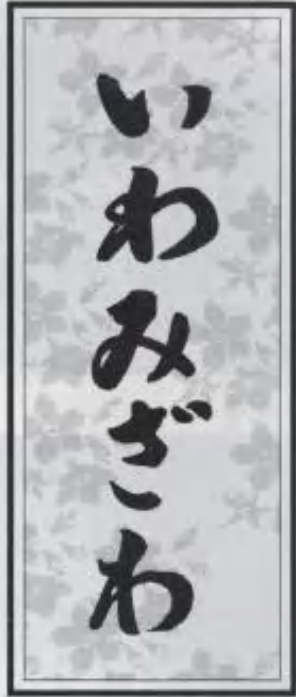


謹賀新年



発行所 隊友会岩見沢支部
 岩見沢市西川町519-25
 編集 陸上自衛隊地
 岩見沢駐屯地
 印刷 北海道立福祉村
 空知郡栗沢町最上350
 電話(0126)45-2721



年頭の辞
 第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令
 一等陸佐 池田安一郎

岩見沢駐屯地の皆さん、ご家族の皆さん、そして、協力会、隊友会、父兄会、睦会、自衛隊退職者雇用協議会の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年の三月末以来、皆様のご支援・ご協力を得て、第十二施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令として勤務している池田一佐です。本年もよろしくお願いいたします。

私は、昨日のように今日もあり、去年のように今年もあるかのように感じていた時もありました。また、そうあってほしいと願ったこともありましたが、しかし、三十才を過ぎたころから、時代や社会は確実に変化するものだと思います。自衛隊を取り巻く環境も変化し続けています。しかも今は、その変化のスピードが速いのです。

駐屯地の皆さんに、陸上自衛隊に直接関係する今年の変化をいくつか紹介してみましよう。

- ① 統合運用体制を強化するために、事務局でしかなかった統幕を統合幕僚監部とするための準備が推進されます。このため陸幕及び方面総監部の改編も必要になってきます。
 - ② 中央即応集団(仮称)及びその下に国際活動教育隊(仮称)を新設する準備が推進されます。
 - ③ いくつかの部隊の縮小改編が計画されています。
 - ④ イラクからの撤退が政治判断される可能性がありますし、北方の部隊がその任務につくかもしれません。
 - ⑤ 防衛庁から省への昇格気運が高まる可能性があります。
 - ⑥ 岩見沢市、栗沢町、北村の合併が計画されています。
- これ以外にも米軍の再編等の大きな変化があります。また、これらの変化が岩見沢駐屯地や皆さんに及ぼす影響も色々でしょう。
- 変化を察知し、それを受け止め、よりよき方向を目指そうとする一人一人の強い意志こそが、よりよき自衛隊、岩見沢駐屯地を育成する原動力ではないかと思っています。
- 駐屯地司令として、今年も全力を尽くしたいと考えています。駐屯地の皆さん、心をあわせ、頑張ってくださいませよう。

岩見沢市防災訓練

近年、地震による大災害が多発していることから、十一月二十一日市民が参加した大規模防災訓練が岩見沢市内で行われた。岩見沢市内の東光中学校を避難所とする町内会、消防、警察と共に、第十二施設群から十九名の隊員が参加した。

「震度六弱の地震が発生し、火災が同時発生。広範囲の住民避難が必要」との想定で午前八時に開始。群は大型タンクにより避難住民の約四十名を避難所まで輸送した。また避難所では、第三三六施設中隊の隊員十名が野外炊事具1号で約三百名分の炊飯と豚汁を作り、避難所内では町内会婦人部の女性隊によるおにぎりを握る、炊き出し訓練も実施された。

第十二施設群第三三六施設中隊

三等陸曹 松浦 高井

平成十七年十一月二十六日小雪舞う朝、駐屯地が所在する岩見沢市内において、市民、警察、消防、自衛隊合同で行われた、岩見沢市初の「大規模防災訓練」に参加しました。

この訓練の目的は、国内外で頻繁に発生している大規模地震発生時において、被災市民の輸送、倒壊家屋での人命救出、へりによる怪我人等の輸送等、実



際の災害を想定して各部署の連携を確立する事と、災害時に市民がどの様に避難すれば良いか考えてもらうものでした。

今回我が中隊は、避難してきた被災市民に配食するための、炊き出しを実施しました。

中隊では、野外炊事具二号による炊飯の経験はありましたが、今回使用した野外炊事具一号（改）は触る事も初めて、炊飯することも初めてと「初」×「二」尽くでの参加に、不安との戦いで、

炊事場所についてもなかなか落ち着くことができませんでした。しかし、災害の想定での訓練と言うことを考え、「市民の皆さんに不安を与えてはいけません」と、一生懸命取り組みました。

午前八時、地震発生放送が市内に流れ、各避難場所から警察の誘導で、自衛隊車両、民間のバスにより輸送が開始され、続々と集合場所の中学校グラウンドに集まってきました。

消防による人命救出、ドクターヘリなどの訓練などが行われ、我々の炊いた飯とメインの豚汁も完成しました。

普段は目にする事のない自衛隊の炊事風景に、集まった皆さんも興味津々で、「何人分作れるの?」「駐屯地の中でもこれで炊いてるの?」など、いろいろ注目されていて若干照れながらも一生懸命作りました。

その甲斐あってか、訓練終了後に皆さんから「美味しかったよ、ありがとう」「すばらしい味でした。その辺の食堂より美味しかったです」など声をかけて頂き、充実感と達成感で感極まりました。

今回の訓練を通じて、いつ起こるか分からない大規模災害において、我々自衛官が今出来ること、求められることを再認識し、これからの訓練に生かしていきたいと思えます。

「銃剣道競技会」に参加して

第十二施設群第三三五施設中隊
陸士長 引地 秀也

私は、自衛隊入隊以来毎年、銃剣道の選手として活躍しています。平成十六年の四月に岩見沢駐屯地に転属し中隊、十二施設群の銃剣道競技会にかける思い、そして何よりも練度の高さに驚きを感じました。

今年九月から、十二月二十一日に実施される団銃剣道競技会の選手要員として毎日練成に練成を重ねています。団の競技会に先立ち十一月一日実施された群銃剣道競技会では、我ら第三三五施設中隊が見事、団体戦優勝、二連覇達成しました。やはり、他中隊も練成に励んでおり、紙一重での優勝でしたが、各人が各人の役割を果たし、皆で力を合わせた結果が優勝の二文字を導いたと思います。

群の優勝に引き続き、これからは、団の頂点を目指して練成に励んでいきたいと思えます。常にチャレンジ精神で練成に励む事が、練度向上に繋がる事を信じてこれからも銃剣道ブレイヤーとして切磋琢磨していきたいと思えます。



年頭の辞

隊友会支部長

黒田 悟



新年明けましておめでとーございませう。

駐屯地司令を始め駐屯地隊員の皆様には、ご家族共々希望溢れる新春をお迎えの事と心よりお慶びを申し上げます。

昨年は、隊友会若見沢支部に対しまして、駐屯地の皆様始め地域の皆様からの温かいご理解とご支援・ご協力を頂き、お陰をもちまして諸行事も滞りなく推進できましたことを茲に改めて厚くお礼申し上げます。若見沢駐屯地も昭和二十八年に開庁されて以来、幾多の変遷を重ねながら今年で五十三年の歴史を刻もうとしております。

この間、歴代駐屯地司令を始め隊員の皆様には、使命感に燃え、たゆまぬ努力と精神の積み重ねにより、今日の揺るぎない素晴らしい精強な部隊を築かれ、国内はもとより国外においてもその成果を遺憾なく発揮して活躍されておられます事に、心から敬意を表すと共に誇りに思っているところでありませう。

特に昨年は、国内外共に激変の一年でした。国内外における大災害を始め、混沌とした国際情勢の状況下にあつて、自衛隊の存在感が重要視され国民からの期待も益々高まっております。

この時に当たり、益々部隊の精強化にご精進されますよう祈念致します。我々隊友会会員一同も、出来る限りのご支援を惜しまぬつもりであります。

新年を迎えるにあたり、駐屯地の益々のご発展並びに、隊員皆様とご家族共々のご多幸を祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

隊友会恒例の、ボウリング大会開催される



ボウリング大会優勝白根氏



黒田支部長の挨拶



懇親会

隊友会若見沢支部恒例の「ボウリング大会並びに懇親会」が、十一月二十日(日)にポルタートーホーホール(西友五階)にて開催されました。

ボウリング大会には、隊友会員三十八名と現職隊員九名の多数ご参加いただきました。

成績は、優勝は昨年準優勝に泣いた白根謙一氏、準優勝は、昨年優勝の池田哲夫氏、第三位田代繁之氏、四位 阪田茂俊氏、五位 宇山達也氏(後援幹部)の皆さんがそれぞれ受賞されました。

成績発表後、黒田支部長より受賞者の皆さんに豪華賞品が贈られました。

その後、場所を市内の「とんとん亭」に移し、隊友会員五十一名と現職隊員十二名のご参加をいただき恒例の焼肉パーティーの懇親会を行なつた。

会は、黒田支部長の挨拶に始まり、現職を代表して業務隊長佐藤貞夫様の「乾杯」の音頭で始まりませう。

久しぶりに再会した方々もおられ互いに近況を語り合いながら会も盛り上がり、現職の方々とも自衛隊の現状等を語り合つて隊友と現職の更なる懇親を深めることが出来ませう。

EVENT HALL
 駅東市民広場
 イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
 お気軽にお電話ください ☎ 0126-(22)-5871

若見沢市有明町南1番地7
 株式会社 振興いわみざわ
 代表取締役 五十嵐 閑

1泊2日の短期入院から手厚く保護。
 全方位の安心をお贈りする医療保険。

医療 大臣

すべての未来を現します

フコク生命

プランナー 小川 恵子
 富国生命保険相互会社 若見沢営業所
 若見沢市2条西3丁目1-1
 ☎ 0126-(23)-1971

お客様のニーズに
 お答えいたします。

夜の桜の下で乾杯を
 よ り

スナック **夜咲桜**

若見沢市2条西2丁目
 ☎ 0126-(24)-3189

予備自衛官招集訓練に参加

岩見沢駐屯地で十月十三日(木) から十七日(月) までの間、平成十七年度の予備自衛官招集訓練(訓練担任、第十二施設群教育隊)が実施され、隊友会岩見沢支部会員も多数の方が参加され、普段は会社勤めの隊友も、出頭するや速やかに戦闘服に身を固め自衛官であることを自覚し、同僚との旧交を確認しながら、予備自衛官としての必要な基礎的事項の訓練に臨んでいました。これまでは、予備自衛官は防衛出動に应付する義務のみだったのですが、平成十三年度から、有事のみならず災害派遣等平時にも活躍が期待されるようになり、その重要性が一層高まっている事を強く意識して訓練に取り組む意気込みはとは裏腹に体力低下は勝てない予備自衛官の方々が結構見られましたし、健康管理と体力の維持を痛感させられた人も少なからず見受けられました。



新整備工場での見学



孫別演習場での訓練



予備自衛官招集訓練に参加して



菅野光男

私は、一昨年七月無事定年退官し、市内の病院での管理業務に就きました。自衛隊での経験を元に、一日も早く仕事に慣れ、一日も早く会社の戦力となるように努力し、一年が過ぎました。予備自衛官として、初の招集訓練に参加することになりました。体力的には衰えを感じませんでしたが、「射撃や、訓練等について行けるか」と不安を感じる中、駐屯地の門をくぐりました。到着後、懐かしい昔の仲間・私よりも前に定年となった先輩の皆様の顔を拝見し、招集訓練に対する不安は一掃し、スムーズに参加することが出来ました。第十二施設群長の教育の中で、「今後自衛隊は、益々任務が多様化して行き、予算も削られる中で最大の成果を求められる」とありました。現役の皆様、多様な任務に即応できること、日々の訓練に励んでください。また、訓練最盛期のこの時期に最大の成果を引き出すために、招集訓練に携わったスタッフの皆様深く感謝します。

千葉電気工事株式会社
代表取締役 千葉嘉男
岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

朝日生命
あなたと生きていく保険。
岩見沢営業所
電話(0126)22-0207番

Wedding
Iwamizawa Heiankaku
お二人の結立ちを、真心のおもてなしでご祝福いたします。

三井グリーンランド
ホテル サンプラザ
「Only one」発表!
ご宿泊のお客は遊園地入園無料!

AUTO ARTECH
オートアーテック
岩見沢市大和2条3丁目50
電話 0126-(20)-2777

hair salon
渡邊正吾
自衛隊員の方優遇! 料金2500円!!
電話 0126-(25)-0666

人事往来

【第十二施設群】一月一日付
准尉へ

本部管理中隊

陸曹長 林 勝則

陸曹長へ

本部管理中隊

一等陸曹 橋本 正弘

一等陸曹 宮崎 弘之

第三三七施設中隊

一等陸曹 石川 信明

第三四二施設中隊

一等陸曹 工藤 政美

一等陸曹へ

第三三七施設中隊

二等陸曹 渡邊 敏

第三一二施設器材中隊

二等陸曹 岡田 耕英

第三〇二坑道中隊

二等陸曹 田宮 勝利

二等陸曹へ

本部管理中隊

三等陸曹 森 政仁

第三三五施設中隊

三等陸曹 関 康也

第三三六施設中隊

三等陸曹 片山 絢介

第三〇二坑道中隊

三等陸曹 櫻庭 王一

三等陸曹 舟生 裕人

第三四二施設中隊

三等陸曹 高野 章

三等陸曹へ

本部管理中隊

陸士長 佐藤 俊輔

第三三七施設中隊

陸士長 菊池 元希

陸士長 木村 圭司

第三一二施設器材中隊

陸士長 杉山 修司

第三〇二坑道中隊

陸士長 竹谷 年

陸士長 岸田 健吾

【第一〇一直支大隊】一月一日付

陸曹長へ

一等陸曹 河野 哲也

一等陸曹 小林 勝一

一等陸曹へ

二等陸曹 和田 勝美

二等陸曹へ

三等陸曹 中田 弘幸

三等陸曹 菊地 寛

【駐屯地業務隊】一月一日付

陸曹長へ

一等陸曹 今野 勝美

二等陸曹へ

三等陸曹 小末 崎 孝

防衛庁 職員 家族 団体傷害保険

防衛庁 共済組合 集団取扱 ガン保険

お問合せ：岩見沢駐屯地厚生科内（内線338）

お申込先：弘興企業（株）保険営業部

池田 哲夫

結婚しました

第三三五施設中隊



二尉 大谷 和之

潤子

十一月二十二日

第三三五施設中隊



三曹

花田 大樹

なつみ

十月十三日

第二直接支援中隊



一曹

小林 勝一

彩加

十月二十八日

こんにちは

赤ちゃん

本部管理中隊

陸曹長

吉田 正勝

涼 真君

十一月十七日生



第三三五施設中隊

士長

引地 秀也

大輝君

十一月二日生



第三三七施設中隊

二曹

西原 寿晃

佑 岳君

十一月九日生



第三三七施設中隊

二曹

沼田 富士雄

弦 輝

十二月八日生



第三三七施設中隊

三曹

小山内 隆介

二葉ちゃん

十二月七日生



第二直接支援中隊

三曹

酒井 浩太郎

はぐみちゃん

十一月十六日生



SNACK 北の国から



岩見沢市3条西1丁目宮川ビル2F

平井 富雄

0126 - (25) - 6048